





野良猫不妊手術事業に貢献 宮崎市に感謝状 兵庫の財団法人

2022/03/18 05:00

 この記事をスクラップする   



佐上理事長から感謝状を受け取った清山市長（右）

公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県芦屋市）が行う野良猫の無料不妊手術事業に賛同し、重要性や理解を広く市民に広めたなどとして、同基金は17日、宮崎市に感謝状を贈った。

同基金が行う事業は「さくらねこ無料不妊手術事業」と呼ばれており、猫の殺処分ゼロ実現に向けて進められている。

宮崎市は「行政枠」としてこの事業に登録、参加している。具体的には、市は市内にいる手術をしていない野良猫の情報を、連携するボランティア団体などとともにとりまとめ、同基金に手術を依頼。同基金は「行政枠チケット」を市に出し、このチケットを使って野良猫の不妊手術が行われる。その際、市と連携するボランティア団体などが野良猫の捕獲や搬送などを行っているという。

同基金によると、宮崎市では2021年、行政枠チケットを利用した手術が700匹を対象に行われ、この事業に参加する約350の自治体で最多だった。

17日は同基金の佐上邦久理事長が市役所を訪れ、清山知憲市長に感謝状を手渡した。佐上理事長は宮崎市がボランティア団体などと進めている不妊手術事業への取り組みについて、「市内で活動するボランティアが熱心で、市も誠意をもって応える協働体制がうまくできている」と話した。